

2013年10月5日 国際P2M学会 2013年度 秋季研究発表大会
「グローバル時代の経営と開発マネジメント」
～成果を追求するP2Mによる研究、技術、事業、社会への波及～
市場と公益が共存できるビジネスモデル創出を目指すプログラムマネジメントを考える

会場	A会場 講義棟1階L0011号室	B会場 講義棟1階L0012号室	C-1会場 講義棟1階L0014号室	C-2会場 講義棟1階L0016号室
研究発表	開発マネジメント理論 トラック	日本的開発マネジメント 実践と方法論トラック	P2M関連の自由論題 トラック	P2M関連の自由論題 トラック
座長(仮)	中村/山根	和田/新井	武富/山本	永里/野地
9:30-10:00	A-1: 小原重信: P2M 理論による戦略開発プログラムマネジメントの本質～ハード・ソフトシステムの融合とビジネスモデル転換～	B-1: Seiichi FUJII, Geunhee LEE: The Integration-Oriented Product Development Management in Japan -An Application of Product-Customer Matrix to KAO-	C-1-1: 清水基夫: P2M における実践力と価値創造コミュニティに関する一考察	C-2-1: 高橋佳典: PFI を基にした公共投資における事業判断の提案
10:00-10:30	A-2: 沖浦文彦: P2M フレームワークから見たベトナムにおける JICA による ODA 事業の現状と課題(総論)	B-2: 渡辺貢成: グローバリゼーションによって起こされた先進国の実態とそれに適応するアドバンスト P2M 開発研究の提案	C-1-2: 山本秀男: イノベーションプログラムのマネジメントに関する考察	C-2-2: 高橋正彦、亀山秀雄: P2M 理論を適用した水道職員教育訓練システムの開発事例
10:30-10:40	休憩			
10:40-12:00	【会場: 講義棟1階L0013号室】 特別セッション1 「社会インフラと地域活性化における人材育成」 モデレータ 東京農工大学大学院 工学府 亀山秀雄教授 パネリスト 独立行政法人 国際協力機構 国際緊急援助隊事務局長 中村明氏 パネリスト オムロン株式会社 環境事業推進本部 フィールドセールスエンジニアリング部主査 野地英昭氏			
12:00-13:00	昼休み (12:00-12:50 理事会・評議員会合同会議【会場: 講義棟1階L0016号室】)			
13:00-15:00	【会場: 講義棟1階L0013号室】 特別セッション2 (1) 会長挨拶 吉田邦夫 一般社団 国際P2M学会会長、東京大学名誉教授 (2) 基調講演 「グローバル経営と研究開発マネジメント」 講演と講師 株式会社日立テクノロジーズ 前会長 大林秀仁氏			
15:00-15:10	休憩			
15:10-15:50	(3) P2M の論理と研究開発プログラムマネジメント実践 「P2M の論理～研究開発マネジメントに適用するための基本的な考え方～」 講師 : 中央大学大学院戦略経営研究科 教授 山本秀男氏			
15:50-16:00	休憩			
16:00-16:30	A-3: 小川隆雄、栗原崇、伊藤紀: 気候変動対策への P2M 適用に関する考察～ISO 認証制度を活用したMRV スキームモデルの構築～	B-3: 井上美和夏、青山敦: 自立的失敗知識活用モデルの提案 プロジェクトの失敗を組織で活用する	C-1-3: 楓森博、濱田佑希、越島一郎: CSR 管理のための P2M フレームワークに関する基礎的研究— 研究のためのレビューとポジショニング—	C-2-3: 古谷治正: P2M を阻害するコミュニケーションギャップの存在とその軽減策について
16:30-17:00	A-4: 石井洋平: 国際分業理論によるP2M理論の動学化についての序説—仮設値による模式図「分業推移図」の描出とその含意—	B-4: 加藤智之、西田絢子、和田義明、越島一郎、徳丸宜穂、梅田富雄: 製品イノベーションのための P2M -コアプロダクトに基づくサステナブルイノベーション—	C-1-4: 齊藤毅、鈴木研一: EVM を用いたコストマネジメントの限界と ABC の適用—わが国プラント製造企業でのアクションリサーチ—	C-2-4: 栗原崇、伊藤紀: 気候変動マネジメントにおけるシナリオ・プランニング理論の展開
17:00-17:30	A-5: 山根里香: 製品開発プロジェクトを支援する P2M における組織学習機能について	B-5: 岡部稔哉、蔭山佳輝、川江俊英、杉本幸太郎、鴨志田晃: 社会サービスシステム構想 策定のための Vision-Oriented Collaboration (VOC) 方法論の実践	C-1-5: 江原直太郎、田隈広紀、服部光郎: P2M を活用した目標設定・評価プロセスの提案	C-2-5: 高橋康祐、加藤智之、越島一郎: 顧客要求変化に対応する製品開発方法論
17:30-18:00	A-6: 中山政行、亀山秀雄: P2M プラットフォームマネジメントによる地域活性化の構造分析	B-6: 田隈広紀: P2M 支援プラットフォームの構築に向けた要件調査	C-1-6: 濱田佑希、越島一郎、渡辺研司: P2M フレームワークに基づく事業ライフサイクル BCP に関する研究	C-2-6: 岡崎昭仁、小栗康文: 大学教育における学生フォーミュラ活動への P2M の実践(第2報)海外大会への挑戦